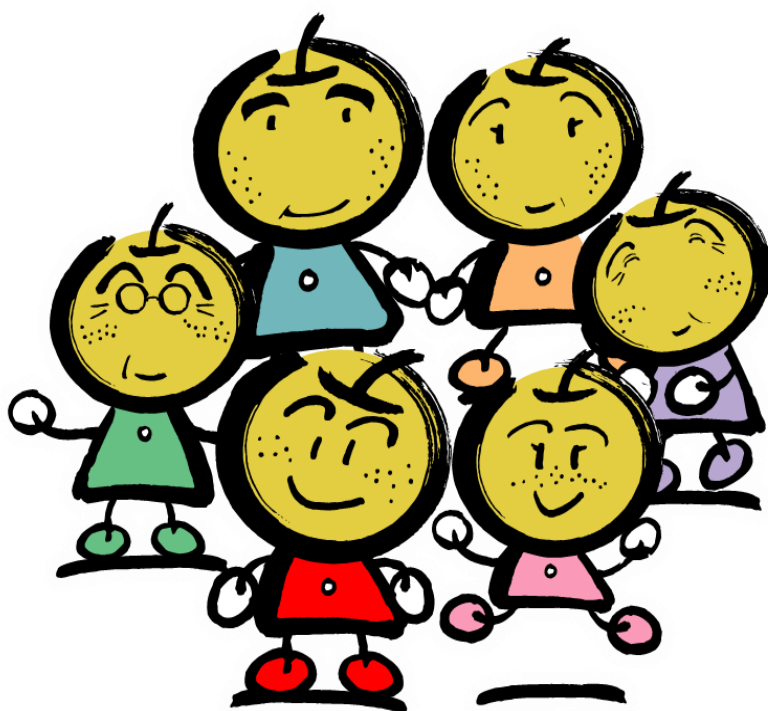


教育委員会の権限に属する事務の管理及び
執行の状況に係る点検及び評価に関する報告書
(令和5年度事業対象)



令和7年1月
白井市教育委員会

はじめに

白井市教育委員会では、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条第1項の規定に基づき、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を実施し、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しています。

この報告書は、市教育委員会が令和5年度に実施した事務事業の取り組みについて、点検及び評価を行い、事務事業の改善・見直しを進めながら効率的・効果的な教育施策の推進に資するため、取りまとめたものです。

今回の点検及び評価にあたっては、白井市教育振興基本計画-e なしプラン-（令和3年3月策定）を基に、53の取組項目について点検及び評価を行っています。

<参 考>

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

目 次

第1章	教育大綱	1
第2章	点検及び評価方法	2
1	点検及び評価の対象	
2	点検及び評価の実施体制	
3	点検及び評価の観点	
(参考)	白井市教育振興基本計画 体系一覧	3～4
第3章	点検及び評価結果	5～24
	教育委員会の活動状況	25～27

第1章 教育大綱（令和3年度～令和7年度）

【基本理念】



【基本方針】

1 育てます。未来を生き抜く力 【学校教育】

次世代を生きる子どもたちに、安全安心な教育環境、多様な教育活動のもとで、確かな学力、豊かな心、健やかな体を基盤とした「未来を生き抜く力」を育てます。

2 支えます。子どもの笑顔 【家庭教育】

学ぶ機会を提供し、地域で家庭教育を支える仕組みを作り、すべての学びの基盤となる家庭教育を支えます。

3 結びます。人と地域と学び 【社会教育】

市民だれもが身近で気軽に立ち寄ることができる地域の拠点を生かして、人と地域と学びの場を結びます。

4 応援します。みんなの学び 【生涯学習】

市民だれもが生涯を通して、スポーツ、文化、芸術、郷土の歴史等、自己を高める学習活動を応援します。

第2章 点検及び評価方法

1 点検及び評価の対象

点検及び評価については、白井市教育振興基本計画-eなしプラン-における主な取り組み53項目を対象に行いました。

2 点検及び評価の実施体制

点検及び評価の実施に当たっては、事前に担当課等が自己評価した事務事業評価シートをもとに、教育長及び教育委員4人、学識経験者3人から意見・助言をいただき、実施しています。

令和5年度の事業の進捗状況などから評価した各事業の総合評価を、以下のとおり記載しました。

【総合評価】

A：現状の取組や進め方のとおり進めて良い

B：施策の方向性は良いが、取組内容や進め方などに一部の改善や見直しを加えて進めるべき

C：施策の一部について設計を見直すなど、取組内容や進め方などに大きな改善が必要である

D：施策全体の設計を見直すべき

3 点検及び評価の観点

必要性、有効性及び効率性の観点から点検及び評価を行ったうえで、事業の課題などを抽出し、今後の事業の改善により期待される効果等について検討します。

7 計画の体系

基本方針Ⅰ 【学校教育】 育てます。未来を生き抜く力

方 針

施 策

主な取り組み

第1章 前提 第2章 方針Ⅰ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 Ⅱ 1 2 Ⅲ 1 2 Ⅳ 1 2 3 4 5 P3 P2 第3章 推進 第4章 思い	1 確かな学力の育成	(1) 「主体的・対話的で深い学び」を進め、学力向上を図る取り組みの推進	① □□意欲を高める学びの創造プロジェクト ② ●教育課題調査研究事業（学習振り返り調査） ③ □□学校支援アドバイザー（学力）の活用
		(2) 個に応じたきめ細かな指導・支援の充実	① ★補助教員配置事業
		(3) 外国語によるコミュニケーション活動の充実	① ●A L T 配置事業
	2 豊かな心の育成	(1) 「考え、議論する道徳」の授業の推進	① □□授業研究会の実施
		(2) 豊かな人間関係を育む学級づくりの推進	① ●教育課題調査研究事業（Q-U 調査）
		(3) いじめ防止対策の推進	① □□いじめ対策調査会事業
	3 健やかな体の育成	(1) 体力向上を図る取り組みの推進	① □□意欲を高める体育活動の創造プロジェクト ② ●教育課題調査研究事業（新体力テスト） ③ □□学校支援アドバイザー（体育）の活用
		(2) 学校保健・学校安全の推進	① □□保健・安全教育の充実と管理の徹底
		(3) 学校給食の充実と食育の推進	① ●小中学生の栄養指導事業
	4 特別支援教育の推進	(1) 一人ひとりの教育的ニーズに応じた特別支援教育の推進	① ●特別支援教育事業
	5 多様な教育的ニーズへの対応	(1) キャリア教育の充実	① ★地域人材活用事業
		(2) 不登校の児童生徒への支援の充実	① ●適応指導教室事業
		(3) 教育相談の充実	① ●教育相談事業
		(4) グローバル社会で活躍できる人材の育成	① ●青少年国際交流事業
		(5) 日本語指導が必要な児童生徒への支援の充実	① ★補助教員配置事業（日本語指導）
	6 学校のICT化	(1) 授業等でのICT化・オンライン化の推進	① ★教育の情報化推進事業 ② □□授業でのICT活用プロジェクト ③ □□学校支援アドバイザー（ICT）の活用
		(2) 教職員校務のICT化の推進	① □□校務支援システムの有効活用
	7 読書活動の推進	(1) 学校図書館の機能の充実	① ★補助教員配置事業（読書活動推進）
	8 教職員の育成	(1) 教職員研修への支援の充実	① ●教育課題調査研究事業（教職員研修）
		(2) 教職員の職場環境の整備・充実	① □□教職員の働き方改革の推進
	9 特色ある学校づくり	(1) 地域との連携・協働の推進	① □□コミュニティ・スクールの調査・研究、導入
		(2) 小中連携教育の推進	① □□小中一貫教育・義務教育学校の調査・研究

★…実施計画事業のうち戦略事業 ●…実施計画事業のうち戦略以外の事業 □…本計画のみに位置付けた事業
 方針 施策 主な取り組み

10 安全・安心な学校づくり	(1) 安全・安心な教育環境の整備・充実	① ●小中学校教育環境向上事業 ② ●小中学校施設改修等事業 ③ ●学校安全対策事業
基本方針Ⅱ 【家庭教育】 支えます。子どもの笑顔		
1 子育ての悩みへの支援	(1) 家庭教育支援体制の強化	① □家庭教育のサポーター育成
2 子育ての学びへの支援	(1) 親を応援する学習機会や情報の提供	① ●家庭教育事業
基本方針Ⅲ 【社会教育】 結びます。人と地域と学び		
1 学びの拠点づくり	(1) 地域に密着した多様な学習機会の提供	① □公民館活動の充実
2 人と地域を結ぶ学びづくり	(1) 地域交流の場の提供	① □社会教育環境の整備
基本方針Ⅳ 【生涯学習】 応援します。みんなの学び		
1 子どもの放課後の学びづくり	(1) 子どもの安心・安全な居場所づくり	① ★放課後子ども教室事業
2 生涯学習の推進	(1) 生涯を通じて学べる場の提供	① ★市民大学校事業 ② ●立春式事業
	(2) 図書館サービスの充実	① ●図書館サービス推進事業 ② ●図書館資料整備事業
	(3) 天文や宇宙の学習・理解の場の充実	① ●プラネタリウム館運営事業
3 スポーツの推進	(1) 生涯にわたるスポーツの普及・推進	① ★総合型地域スポーツクラブ支援事業 ② ●各種スポーツ大会開催事業
4 文化・芸術の振興	(1) 市民の文化芸術活動の支援	① ●文化を支える人材育成事業 ② ●市民文化祭開催事業
	(2) 文化・芸術の鑑賞機会及び発表の場の提供	① □文化会館管理運営事業 ② ●文化会館自主事業運営事業
5 歴史・文化財の保護・情報発信	(1) 文化財の保護・調査の推進	① ●文化財保護・周知事業 ② ●文化財調査事業 ③ ●埋蔵文化財・文化財記録・保護事業 ④ ●市史編さん事業
	(2) 郷土史の発信と継承	① ●郷土資料館展示・教育普及事業 ② ●市民学芸スタッフ古文書修補活動事業

第3章 点検及び評価結果

●基本方針Ⅰ 育てます。未来を生き抜く力【学校教育】

次世代を生きる子どもたちに、安全安心な教育環境、多様な教育活動のもとで、確かな学力、豊かな心、健やかな体を基盤とした「未来を生き抜く力」を育てます。

事業名		事業概要
意欲を高める学びの創造プロジェクト		これまで、学習の評価としてテストの点数や通知表の評価・評定が気にされがちであったが、今後は、学習の入り口である学習意欲に焦点をあて、授業改善に取り組む。
事業コード	I-1-(1)-①	
担 当	教育支援課	
総合評価	A	
質問・意見・提案		担当課回答
先生方は研修を重ね、努力していると思う。しかし、グループ学習や自分で取り組むことが難しいと思われる学年・クラスもあるので、更に授業改善に取り組めればと思う。 時間に追われれば、教師指導型にならざるを得ない。		現在、市内小中学校では協働学習を取り入れた授業を多く実践しています。 誰もが主体的に学べるようグループ形態にすることで友達にいつでも「教えて」「ここが分からない」と伝えることができ、子どもたち同士で学び合うことを大切にしています。 そして、教師は学び合いがスムーズに進むよう補助的な役割を担っています。話し合って学ぶことが楽しいと思える授業展開をこれからも各校で行っていきます。

事業名		事業概要
教育課題調査研究事業 (総合学力調査・Y-Pアセスメント・新体力調査・教職員研修)		・児童生徒の学習のつまづきを調査・分析し、理解が不十分な部分を明らかにし、学習を振り返らせることで、理解を深め、学習意欲の向上につなげていく。 ・学級集団の調査結果をもとに学級の様子を客観的に分析し、よりよい学級づくりに役立てていく。また、調査結果の効果的な活用についても、教職員の研修等を行う中で、深めていく。 ・児童生徒の体力向上のため、調査の結果を用いて課題に応じた指導・支援をしていく。また、児童生徒自身が自分の体力を知るとともに、課題に応じて運動に取り組もうとする意欲を養う。 ・学力・体力の向上に向け、意欲に焦点をあてた学習指導・体育指導の具体的な指導方法について研修を行う。また、ICTの実用研修を進め、授業におけるICT活用の定着を図る。
事業コード	I-1-(1)-② I-2-(2)-① I-3-(1)-② I-8-(1)-①	
担 当	教育支援課	
総合評価	A	
質問・意見・提案		担当課回答
教員の負担を軽減できるものや教育効果の高いものをさらに取り入れてほしい。		今後も業務効率化を図っていけるようにします。

事業名		事業概要
学校支援アドバイザー (学力・体育・ICT) の活用		・児童生徒の学力向上に向け、学習への意欲や「主体的・対話的で深い学び」の視点から、授業・学級経営・生徒指導等、総合的な見地から専門的なアドバイスを受け、小中学校全校共通に指導方法改善に取り組む。 ・学校支援アドバイザーの学校訪問を通して、体育科授業の改善を図る。特に、運動経験が少なく、苦手意識のある児童生徒への支援の充実を図る。また、児童生徒の体力向上と健やかな体の育成に向け、学校の教育活動全体を通じた指導と家庭との連携を図る。 ・ICT 担当学校支援アドバイザーを活用し、授業での ICT 機器の効果的な活用場面や活用方法についてアドバイスを受ける。また、授業準備、ワークシート等の作成、授業での児童生徒や教師への支援を行う。
事業コード	I-1-(1)-③ I-3-(1)-③ I-6-(1)-③	
担 当	教育支援課	
総合評価	A	
質問・意見・提案		担当課回答
5事業の評価（効率性／受益者負担） 評価が、令和3・4年度とも、「適切である」だったが、令和5年度は、「求めることができない」となったのは、なぜか。		学校経営に関することから、教員の指導力向上に関することなど、事業内容的に受益者負担を求めるものではなく、全て市の予算で負担しています。 そのため、令和5年度より「求めることができない」としました。
年度途中で1名減となったことで他の方の負担が大きくなっていないか。 人材確保が難しいと思うが、来年度も1名増員してほしい。		計画的に業務を行い、負担が偏らないようにしております。 また、来年度に1名増員する予定です。

事業名		事業概要
補助教員配置事業 (学校・日本語指導・読書活動推進)		・きめ細やかな指導を実施するため、補助教員を配置し、個別指導の実施やTT指導（複数教員による指導）などにより、児童生徒の学習意欲を向上させ、主体的・対話的で深い学びができるよう支援する。 ・近年増えてきている外国籍の児童生徒が他の児童生徒と同じように学校生活が送れるよう、母語が話せる、日本語指導の補助教員を小中学校に配置し支援を行う。 ・児童生徒の読書活動の充実を図るため、全小中学校に読書活動推進補助教員の配置を行い、児童生徒が読書に親しむ姿勢を養うと共に、図書を活用した授業が円滑に行えるよう、授業の支援を行う。
事業コード	I-1-(2)-① I-5-(5)-① I-7-(1)-①	
担 当	学校政策課	
総合評価	B	
質問・意見・提案		担当課回答
現在市内の小中学校には何人の外国人がいて、国は何か国に渡っているのか。 補助教員がそれぞれの国に対応して最低1人はいるのか。 外国人の子どもが、学校で日本語をある程度理解できるまでは、授業内容の理解や家庭への連絡など問題ない範囲で対応はできているのか。		令和6年9月1日時点で、外国籍の児童生徒は93名で、そのうち日本語指導を必要とする児童生徒数は52名です。 出身国は9か国となります。9か国の言語に対して、全ては網羅できていません。 日本語が全く話せない児童生徒もいることから、授業内容の理解が難しい教科もあります。家庭への連絡は、教員や補助教員、ICT機器も活用して行っています。

各校で、補助教員が来校している時数はどのくらいか。 ① 学校補助教員 ② 日本語指導補助教員 ③ 読書活動推進補助教員	学校補助教員と日本語指導補助教員は、学校の実態に応じて配置しているため、人数や時数は学校によって異なります。 読書活動推進補助教員については、学校週4日16時間となっております。
ポケットークや翻訳機などが身近にあると、先生方を取り合わなくても、担任がどうにか対応できるようになるのではないか。	スリランカのお子さんが増えている中、シンハラ語対応の指導教員が配置出来ないため、ポケットークなども検討していかなければならないと考えております。
教員や支援員を確保するのが、困難になっているにも関わらず、支援を要する児童が増え続けている。 又、通常学級にも支援の必要な子が居て、クラスが落ち着いて学習することが出来ない。 そのような現状を考えると、保護者の見回りなどで少しでも改善できないか。	教職員の指導力向上に向けた研修をはじめ、保護者との連携を図っているところです。 さらに、学校の実態や学習の内容に応じて、保護者による授業支援等を行う場合もあります。
外国籍の子どもが増え、最低限のコミュニケーション可能な日本語を理解できるまでは、語学の補助教員が来ない日は、授業内容が分からず、我慢している子どもがいたと耳にしたことがあった。補助教員は限られており、ある程度は仕方ないことだが、把握できているとよいと思う。	国際化が進む中、今後、今よりも多国籍の外国人児童生徒が増えていくことが考えられます。 全ての言語に対応した人材を用意することは難しいことから、個別支援学級の児童生徒と同じように、個に応じた個別支援計画に基づいた指導が必要となってくると考えています。
配置については、学校の希望にできるだけ沿うようにしてほしい。 学校現場は人員を必要としているので、できるだけ毎年度、目標以上の配置を目指してほしい。	学校補助教員と日本語指導補助教員は学校の実態に応じて配置しているため、人数や時数は学校によって異なります。 学校の状況を観察し、学校長とヒアリングを行い補助教員を配置しています。また、学校からの要請により、年度途中でも新たに配置しているところです。諸条件の中、希望に沿った配置をしています。
補助教員の勤務時間数を増やせない事情などについて説明を聞き、個々の事情もあり学校の希望通りの配置が難しいことは承知しているが、年度初めから欠員が生じている学校が多くある中で、市としてできることは補助教員の増員だと思う。 特に4月の小学1年生のクラスには補助教員が必要である。管理職の先生の負担を減らすためにも、増員を検討してほしい。	欠員は県費の本務者であり、市会計年度任用職員とは権限も業務内容も異なります。欠員が出ないように、教育委員会として県への要請と調整をしています。

事業名		事業概要
A L T 配置事業		外国語によるコミュニケーション活動の充実を図り、児童生徒の言語や文化に対する理解を深め、主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するため、市内小中学校、適応指導教室にA L Tを配置する。
事業コード	I -1-(3)-①	
担 当	教育支援課	
総合評価	A	

事業名		事業概要
授業研究会の実施		道徳教育推進教師を中心とした指導体制の充実を図り、家庭・地域との連携を深め、道徳教育を推進していく。児童生徒一人ひとりの考えを大切に、価値の理解を深めるための工夫した授業を目指す。
事業コード	I -2-(1)-①	
担 当	教育支援課	
総合評価	A	
質問・意見・提案		担当課回答
1 事業概要（事業内容） 前年度までは、道徳中心だった。令和5年度からは、教科を限定せず研究範囲を広げたと捉えてよいか。		委員の理解のとおりです。
この事業は児童生徒の学力や学習意欲の向上に直結する反面、研究校に指定された学校の負担は大きいので、指定された年度は補助教員を1名多く配置したり、研修図書費を多くしたりするなどの支援ができればよいと思う。		研修図書費については、市予算の消耗品費を指定校に補助しておりますので、そちらで対応できるかと考えます。

事業名		事業概要
いじめ対策調査会事業		教育委員会が取り組んでいるいじめ防止等のための対策を実効的に行うため、専門的な知識及び経験を持つ第三者等の参加を図り、公平性・中立性が確保されるよういじめ対策調査会を設置し適切に運営していく。
事業コード	I -2-(3)-①	
担 当	教育支援課	
総合評価	A	

事業名		事業概要
意欲を高める体育活動の創造プロジェクト		I C Tの活用など、児童生徒が自分の運動課題を見つけたり自分の技能を客観的に分析したりすることを通し、体力や技能の向上を図ることで運動意欲を高める。
事業コード	I -3-(1)-①	
担 当	学校政策課	
総合評価	A	
質問・意見・提案		担当課回答
小学校の体力測定が残暑厳しい時期に重なるため、暑い体育館で行うシャトルランなどの実施は危険に感じ、よい記録が出るとも思えない。 少しでも改善できないか。		2年続けて猛暑が続いておりますので、各学校には暑い時期をなるべく避けるように伝えていきます。 また、中学校同様5月に行うか、運動会後に行うなど、教育課程の工夫を促してまいります。

事業名		事業概要
保健・安全教育の充実と管理の徹底		児童生徒及び教職員の健康の保持増進と疾病予防のため、健康診断の実施と健康に対する啓発事業を実施する。児童生徒が安全な学校生活を送るため、安全点検の実施や学校環境の安全の確保を行う。
事業コード	I -3-(2)-①	
担 当	教育支援課	
総合評価	A	

事業名		事業概要
小中学生の栄養指導事業		栄養士や栄養教諭が学校を訪問し、学校給食を通じて児童生徒の発達の段階に則した食育指導を行い、児童生徒が食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けられるようにする。
事業コード	I -3-(3)-①	
担 当	教育支援課	
総合評価	A	
質問・意見・提案		担当課回答
2 取組状況（令和 5 年度取組状況） 食育体験授業の実施は、全学年か、特定学年か。		実施内容や実施学校によって異なります。 令和 5 年の枝豆のさや取り体験は白井第二小学校全校で実施しました。 とうもろこしの皮むき体験は白井第一小学校 1 年生で実施しました。
栄養士による学校訪問や地産地消の取り組み実施校は、順番だと思うが、学区に農家さんが少ない学校や生活科での野菜作りが難しい学校を優先したほうがよいと思う。		各学校の公平性を考慮し、順番に実施しています。
食育体験の実施校を広げていくような計画はあるのか。		具体的な計画はまだですが、学校給食センターと連携を取りながら検討してまいりたいと思います。

事業名		事業概要
特別支援教育事業		特別支援教育における就学相談及び個別支援の充実を図るため、ライフサポートファイルの活用や教育支援委員会の開催、個別支援学級への必要な介助員の配置、専門性の高い巡回指導による指導・助言等を行う。
事業コード	I -4-(1)-①	
担 当	教育支援課	
総合評価	A	

事業名		事業概要
地域人材活用事業		社会に開かれた教育課程の実現に向け、学校教育を通じてより良い社会を創るという目標を社会と共有するとともに、児童生徒が必要な資質・能力を身につけられるよう、地域の人的・物的資源の効果的な活用を図る。
事業コード	I -5-(1)-①	
担 当	教育支援課	
総合評価	B	

質問・意見・提案	担当課回答
3 コスト 令和6年度からの更なる予算増の用途は。	令和6年度の部活動地域展開事業、コミュニティ・スクール事業開始による予算増となっております。
国の施策である部活動地域移行やコミュニティ・スクールの導入を進めようと、今までの人材活用に協力してくれた人達の今後の取り組みは、どうなっていくのか。	部活動地域展開は業務委託で進めております。 コミュニティ・スクールでは、学校運営協議会においてさらなるご協力をいただき、連携を図り、地域住民との交流の場となるようにしていきたいと考えます。
部活動サポーターの派遣人数が増加しているが、具体的にどのような方が活躍しているのか。	各校のニーズに合わせ、専門的な指導ができる地域の方に指導をいただいております。 バドミントン、柔道、吹奏楽、卓球、剣道部で指導していただいております。
地域人材の確保に苦勞する学校が出てきた場合の行政のフォローを考えておいた方がよい。	市が連携している「官民連携」の利用や他課が確保している人材を紹介するようにしております。
国の施策で児童・生徒の技能技術は高まるが、今まで人材活用に協力して下さった方々はもう必要ではないのか。 今後の取り組みはどうなっていくのか。	地域の人材活用ということで、特に、子どもたちの授業に関わる方々を指していると思いますが、これは従来どおり学校が選択して、外部の方のほうが望ましいと思う授業では、積極的に活用されると思います。

事業名	事業概要
教育支援センター事業 (旧：適応指導教室事業)	何らかの理由で学校に不適応を起こしている児童生徒に対し、グループ活動や学習活動を通して、心理面、学習面、生活面の相談・支援を行い、学校への復帰及び社会的自立を促す。
事業コード	
担 当	
総合評価	
質問・意見・提案	担当課回答
3 コスト 令和6年度からの予算増の目的は。	人事院及び千葉県人事委員会勧告を踏まえた給与改定に伴い、会計年度任用職員の人件費が上がったこと及びカーテンクリーニングの単価が値上がりしたためです。
5 事業の評価（必要性／市民生活・地域社会への影響度） 評価が、令和3・4年度とも、「大きい」だったが、令和5年度は、「小さい」となったのはなぜか。	不登校児童生徒については増加傾向にあり、ニーズや実施意義は高まっていますが、市・地域全体に対する人数の割合は少ないため影響度は「小さい」としました。

事業名	事業概要
教育相談事業	学校生活や家庭生活での不安や悩みに対応し、より良い人間関係づくりや充実した生活が送れるようきめ細かな支援をするため、児童生徒及び保護者や教員を対象に面接・電話・訪問による教育相談を行う。
事業コード	
担 当	
総合評価	
質問・意見・提案	担当課回答
6 今後の方向性（改善により期待される効果） 「年間相談件数が増える」と結んでいるが、より相応しい表現があるのではないか。相談件数が増えるというのは結果であり、効果としては、「相談体制の拡充」等を掲げるべきではないか。	ご意見のとおり「～増える」は結果であるため、今後は「～ニーズに対しての相談体制の拡充を図ることができる」という内容としたいと考えております。

事業名		事業概要
青少年国際交流事業		中学生を中心にオーストラリアとの国際交流を実施することで、国際理解を深めるとともに、国際的視野を広め、多様性を尊重し、グローバル社会で活躍できる人材の育成を推進する。
事業コード	I-5-(4)-①	
担 当	教育支援課	
総合評価	B	
質問・意見・提案		担当課回答
ここ数年、さまざまな理由から、実施できていないが、「民間事業者や国際交流会に委託するなどの検討をしていく」と改善案に出されていたが、未だ変わらない理由があるのか。		新型コロナウイルスの流行後は、毎年実施できるかどうかの見通しを立てるのが非常に難しく、現地校の派遣準備が整わないのも事実です。 そのような状況下で改善案に変えることができていない状況が続いています。
令和4年10月の洪水が原因で交流が中止となり、その後交流そのものがオーストラリア側から打ち切るということになったと聞いている。対応として今後は民間業者や国際交流協会に委託を検討しているとあり、令和7年8月から実施としているが、具体的な検討内容はいつ出されるのか。 現時点でもう委託者を決定しているか。「改善して継続」の方針なので、どのような計画、あるいは見込みで進んでいるのか。		民間業者や国際交流協会と協議をしましたが、引き受けてくれるところはない状況です。 また、民間業者に委託した場合、約1,000万円と高額な経費がかかることを確認しています。 また、洪水災害後、思うように現地校と連絡が取れず、白井市だけでは決定できるものではないことから、改善案についても進んでおりません。
前年度の評価シートで取り組み状況は新型コロナウイルス感染症の終息の目途がたたない状況であるため、「中止」とした（受入）。とあるが、今年度と内容が違う理由は。		洪水が起こったのが令和4年10月であり、交流は8月です。令和4年度の交流は洪水前であるため新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりました。 令和5年度の交流は洪水後であり、年度をまたいでもなお、被害が残っている状況下での判断として中止となったため理由が異なります。
実施内容の見直しを含め、直営から委託の方向で検討を進めてよいのでないか。		委託の方向で検討を進めてきました。民間旅行業者に精査していただいたところ、高額な予算がかかる（約1,000万円）ため、財政課からは予算の捻出が難しいという結果をいただいております。
委託を考える方向性は妥当だが、白井市の特徴が出せる内容を作っていけるように、委託団体との協力関係は、十分に保ちバックアップすべきかと思う。 小学校からの英語教育も始まって、青少年の海外との交流事業は必須であり、委託可能な団体が見つければ、できるだけ早く新たな交流計画を企画運営してもらい、そのバックアップ体制もしっかり考えて、白井市の特徴ある事業にしてほしい。 交流相手側の問題から現状の結果になっているが、時代に対応して今後も続けていくべき事業なので、抜本的に見直して、復活すべきである。		委託に係る予算が捻出できる見通しがつけば、検討を進めていきたいと考えております。 交流先との連絡については、今後もアプローチはしていきたいと考えております。
受け入れ先の状況や円高などを考えると以前と同様に市主催で行うのは難しい事業だと思う。		生徒の安全面等も考慮し、委託の方向で考えております。

事業名		事業概要
教育の情報化推進事業		高速通信ネットワークの整備や児童生徒に一人1台タブレットの実現を目指す GIGA スクール構想実現のため、ICT 環境を整備する。また、双方向でのオンライン授業や Web 会議システムについての環境も整備する。
事業コード	I-6-(1)-①	
担 当	学校政策課	
総合評価	A	
質問・意見・提案		担当課回答
5事業の評価（施策内会議での意見等） 「更なる ICT 機器の活用率向上に向け、他課が主催する学習活動（特別授業など）における活用についても検討すること。」とあるが、「他課が主催する学習活動」とはどういうもので、今までに実施されたことはあるか。		他課が主催する学習活動として、秘書課「市長の特別授業」（小学校全校）や環境課「脱炭素・未来ワークショップ」（大 山口中学校）、危機管理課「体験型防災授業」（白井第二小学校） などを実施しております。

事業名		事業概要
授業での ICT 活用プロジェクト		整備されたタブレットや授業支援ソフト、電子黒板の機能を有した大型提示装置等の利活用のため、ICT 支援員を中心とした研修会の実施や先進校の授業実践視察等を行う。
事業コード	I-6-(1)-②	
担 当	学校政策課	
総合評価	A	

事業名		事業概要
校務支援システムの有効活用		校内の文書や児童生徒に関する情報等をデジタルデータ化することで職員間相互に情報を共有、再利用できる。また、教育委員会や各校が相互にネットワークで結ばれ、情報のやりとりができ、業務負担の軽減につながる。
事業コード	I-6-(2)-①	
担 当	学校政策課	
総合評価	A	
質問・意見・提案		担当課回答
5事業の評価 （令和3・4年度→令和5年度の比較） （有効性／達成度） 「目標を達成している」→「目標に近づいていない」となったのはなぜか。 便利で効率的なものとなるよう、機能面をさらに充実させてほしい。		校務支援システムは浸透していますが、職員の働き方改革の 更なる推進を目指して、より有効的な活用を目指して研究の余 地があります。

事業名		事業概要
教職員の働き方改革の推進		「業務改善の推進」「部活動の負担軽減」「勤務時間に関する意識改革と時間外勤務の抑制」「学校を支援する人材の確保」等の方針のもと、具体的な方策を講じ、働き方改革を推進していく。
事業コード	I-8-(2)-①	
担 当	学校政策課	
総合評価	A	

質問・意見・提案	担当課回答
2 取組状況（前年度評価に伴う改善項目） 「学校補助教員の見直し」とあるが、具体的にどのような見直しを考えているのか。	校内教育支援センターを設置した学校に、不登校児童生徒に対応する補助教員を新たに配置します。 また、学校の状況を観察し、学校長とヒアリングを行い配置人数や配置時数を見直していきます。
部活動運営の見直しで、土日での地域の人による地域展開の方向が出ている。 外国がそうになっているので、できなくはないと思うが、学校でもすでに夜遅くまでの活動は無くなり、月曜日は部活動を休みにするとか、変わってきている。 ただ日本の場合、今まで猛練習をして来たような部活動は、土日にもっちり練習してきたので、それを地域人材に移行する場合、その指導者にもある程度の指導は必要かと思う。 子どもに自由さも与える外国と違って、日本人指導者はワンマンになりやすいところがある。 地域人材の確保も大変だが、かつての熱血指導に戻らない指導は必要かと思う。	もっともなご意見だと思います。委託業者と協力して、子どもたちが安心してスポーツ・文化芸術活動に親しむことができる指導員を採用・配置・育成してまいります。
ICT 面での仕事の効率化の強化、補助教員の増員が必須であると思う。	毎年、学校長とのヒアリングにより補助教員等の配置をしています。諸条件の中、希望に沿った配置を目指しています。

事業名		事業概要
コミュニティ・スクールの調査・研究、導入		各学校が地域の実情や特性を活かし、創意工夫を凝らした特色ある教育を展開するとともに、コミュニティ・スクールの取り組みを調査・研究することで、地域とともにある学校づくりを推進する。
事業コード	I -9-(1)-①	
担 当	学校政策課	
総合評価	B	
質問・意見・提案		担当課回答
①導入、継続する上で、学校が最も苦労すると思われることは何だと考えているか。 ②上記①に対する教育委員会としてのフォローはあるのか。 この事業の成否は、発足から3～5年が勝負所と考える。 学校及び地域への継続的なフォローをお願いしたい。		① 学校運営協議会制度という新たな仕組みができたことから、突然何か新しいことをしなければならないという不安を抱えることが考えられます。 ② 教育委員会からは、コミュニティ・スクール導入に際して、今行っている活動をより充実させるため学校運営協議会を運営していくことがこれまでの教育活動との切れ目ない円滑な導入となり、この過程で新たなアイデアが生まれ、そのアイデアを徐々に取り入れ、よりよい教育が進められるようコミュニティ・スクールの仕組みを上手に活用してほしい、と助言しています。

現在、小学校の学校評議員になっているが、学校参観に行くような立場のように感じる。 すでにコミュニティ・スクール構想は以前から出ていたので、その準備のような形で評議員を置いているのかと思っていたが、来年から全学校にコミュニティ・スクール導入を迫られている状況を見ると、コミュニティ・スクールの運営協議会の委員は、もっと学校に積極的に関わっていくようなので、それならもっと学校評議員を活用して準備してきたらよかったのではないか。 今年桜台小・中学校で試行してモデルを作っているとはいえ、令和7年度から全学校が一気の変革は大変だと思う。 学校教師は研修を受けているにしても、地域関係の人材となる人は、学校の校長中心で来た運営体制からの大変化を十分理解できるのか心配である。その辺の道筋をどのように考えているのか。	学校では、これまでも保護者や地域の方の協力を得て教育活動を進めてきました。 学校運営協議会制度の円滑な導入のために、これらの実績も生かしながら地域でどのような子どもたちを育てるのか、何を実現していくのかを学校と地域住民等が共有していきます。 この目標やビジョンを実現するための話し合いの場が学校運営協議会であり、一委員からの意見により左右されるのではなく、委員の合議により方針が決定されます。協議会の中でたくさんの意見を出し合い、話し合うことが重要で、話し合いの場の雰囲気を作っていける、委員同士の人間関係づくりや信頼関係づくりが大切だと考えます。
やると決まったからには、各学校は頑張ると思う。 ただ、地域が絡んでくるので、委員の人选や会議の運営の仕方などで苦労する学校も出てくるのではないかと。 また、市民活動支援課が進めている小学校区まちづくり協議会事業との関係も気がかりである。 今後地域によっては、2つの協議会の両方から声がかかり、地域の負担増となる可能性がある。	コミュニティ・スクール導入により、桜台小・中学校では新しい取り組みも進めています。 学校運営協議会制度が学校経営にいい影響を及ぼしていると感じています。 2つの協議会の委員をかけ持つことにより、それが負担になるか否かはその人個人の考え方によって異なるようです。 進んでかけ持ってください方もいると聞いております。 コミュニティ・スクール導入後も、問題点を改善に向け考える必要があると考えます。
この事業は行政から、現場へのフォローやケアが必要と考えて進めていくことで成果が期待できる。 白井市の学校は、1校たりとも、開店休業状態にはしない気持ちで進めてほしい。 地域の方の理解がまだ不十分なので、学校側がリードしていくことになると思うが、委員を選んでも、地域の方の役割を自覚してもらわないと運営協議会が形骸化して、現状とあまり変わらない結果になることもあり得る。地域の方が自主的に動かないと学校側の負担が重くなってしまうことも考えられるので、行政の援助も大切である。	学校運営協議会制度は、開かれた教育課程について改めて考え、より一層地域とのつながりを考えていく新たな転換としてよいきっかけになると考えます。 地域が自主的に動けるようになるまでは、それなりの時間がかかると思います。 まだ導入から半年しかたっていない桜台小・中学校では、すでによりよい方向に進んでいます。現状維持ではなく、必ず改善・変革がされると考えます。 コミュニティ・スクールというカテゴリだけではなく、学校の教育活動全体に対して、教育委員会として指導・助言・援助・協力をしていきます。
まちづくり協議会（市民活動支援課）と二重行政にならないよう調整すべきであり、もっと早く一緒に動き出しても良かったのではないかと。	学校運営協議会は学校教育に特化したものであり、この考えから、今後まちづくり協議会の組織力に協力を求めていく場合も考えられます。

行政、学校側の準備は研修会を開いて順調に進んだのかもしれないが、地域への啓蒙をもっと早くすべきである。	令和7年度から導入予定の学校の地域に向けて、令和6年7月に説明会を行いました。 コミュニティ・スクールは学校教育理念と地域の特性によってその内容が全く異なり、実際に実施していく中でコミュニティ・スクールとして学校の特徴が表れてきます。
---	--

事業名		事業概要
小中一貫教育・義務教育学校の調査・研究		中学校区ごとの授業参観等の研修会や、小学校6年生の体験入学等の実施、生徒指導担当者による情報交換等、9年間で児童生徒を育てるとともに、義務教育学校及び小中一貫教育の調査・研究を行う。
事業コード	I-9-(2)-①	
担 当	学校政策課	
総合評価	A	
質問・意見・提案		担当課回答
中学校進学後の不登校生徒の増加を小中学校の先生方で考えていく必要があるように思う。 一定期間、小学校教員が中学校で、中学校教員が小学校で教えることなどの企画もよいと思う。		小・中学校の更なる連携について、調査・研究を進めてまいります。

事業名		事業概要
小中学校教育環境向上事業		児童生徒や教職員が、より安全で快適に学校生活が送れるよう教育環境の向上を図るため、特別教室のエアコンや老朽化した児童生徒用の机・いすの整備について検討を行う。
事業コード	I-10-(1)-①	
担 当	教育総務課	
総合評価	A	

事業名		事業概要
小中学校施設改修等事業		安全安心を最優先に、社会状況の変化に対応した学校施設に求められる機能を確保するため、「白井市学校施設の長寿命化計画」に基づき、校舎等の大規模改修及び長寿命化改修を行う。
事業コード	I-10-(1)-②	
担 当	教育総務課	
総合評価	A	
質問・意見・提案		担当課回答
5事業の評価（必要性／市民生活・地域社会への影響度） 評価が、令和3・4年度とも、「小さい」だったが、令和5年度は、「大きい」となったのは、なぜか。		本事業の評価につきましては、平常時における市民生活・地域社会への影響度を考慮して評価していたところですが、学校施設は指定緊急避難場所及び指定避難所として指定されていることから、災害時などの非常時を含め再評価し、改めたものです。

事業名		事業概要
学校安全対策事業		教育委員会や学校のほか、PTA、警察など関係各所と連携し、通学路の合同点検を実施する。登下校時の見守り活動により交通事故や不審者による被害を防ぎ、児童生徒の安全を確保する。
事業コード	I-10-(1)-③	
担 当	教育支援課	
総合評価	A	

●基本方針Ⅱ 支えます。子どもの笑顔【家庭教育】

学ぶ機会を提供し、地域で家庭教育を支える仕組み作り、すべての学びの基盤となる家庭教育を支えます。

事業名		事業概要
家庭教育のサポーター育成		子どもや保護者が安心して生活することができるよう、保護者や子育て支援関係者に対して、子育てに関する情報提供や集える場の提供を行う。
事業コード	Ⅱ-1-(1)-①	
担 当	生涯学習課	
総合評価	B	
質問・意見・提案		担当課回答
この事業は、次期計画において「家庭教育事業」に統合することになるか。 事業内容が現状のままならば、次期計画作成時に家庭教育事業へ一本化してよいのではないか。		委員の理解のとおりです。家庭教育事業への一本化を検討いたします。

事業名		事業概要
家庭教育事業		保護者の子育てに対する関心の高いものを把握し、若い世代も含め、講座や講演会の実施、家庭教育に関する情報を提供する。
事業コード	Ⅱ-2-(1)-①	
担 当	生涯学習課	
総合評価	A	
質問・意見・提案		担当課回答
就学前健診時における家庭教育講座は家庭教育にあまり関心がない保護者も含め、全保護者を対象として実施可能な唯一の事業で、究極の社会教育だと考える。継続実施をお願いしたい。		引き続き実施してまいります。
対象者が「子育て・家庭教育に興味・関心がある市民」とありますが、興味関心がなくても子育て中の市民には半ば強制的に発信してよいと思う。 (今後はLINEから発信が可能。) YouTube の利用などもとてもよかった。		今後、「家庭教育だより」「家庭教育講座」のお知らせ等をチラシ配布のほか、LINE による発信を積極的に取り組んでまいります。

●基本方針Ⅲ 結びます。人と地域と学び【社会教育】

市民だれもが身近で気軽に立ち寄ることができる地域の拠点を活かして、人と地域と学びの場を結びます。

事業名		事業概要
公民館活動の充実		公民館を管理運営する指定管理者に対して、市の施策を踏まえた学習機会の提供を行うように、情報提供や助言を行うとともに、民間の活力を生かし地域課題解決を目指した講座や事業などの運営ができるように支援する。
事業コード	Ⅲ-1-(1)-①	
担 当	生涯学習課	
総合評価	A	
質問・意見・提案		担当課回答
5 事業の評価（必要性/市民生活・地域社会への影響度） この評価は、「大きい」・「小さい」の2択か。		評価は、「大きい」・「小さい」・「無い」の3択です。
参加人数割合が5.7%であることを評価が「小さい」と判断した理由としている。 数値で示すことは有意義だと思うが、その際は、より正確な数値を求める必要があると考える。 今回の例で言えば、分母となる人数は全市民ではなく、参加が可能な人数（事業対象者の合計）とするのが妥当ではないか。		ご指摘の計算方法では、単に講座の定員に対する参加率となってしまう、「市民生活・地域社会への影響度」を判断するための数値ではなくなってしまうものと考えます。
指定管理者になる以前からも指定管理者になってからも、各公民館（センター）は活動が活発になるように努力していたと思っている。しかし 市民や地域への影響度が「小さい」とあり、「目標に近づいていない」ともなっている。 これは学校教育中心で進んで来た日本社会の歴史が大きいと思う。 欧米に倣って社会教育の重要性も理解してもらおうように PR してきたはずですが、生涯学習の時代だと言っても、一部の知識人しか理解できない気がする。農業も盛んな白井市では、農家は、仕事に定休日があるわけではなく、センターの事業に参加する人は少ない。 センターの努力に加えて、社会教育に対する認識（というより楽しさ）を深める対策も必要ではないかと思う。		生涯学習、社会教育全般に対するご意見として承ります。
どこの職員も、熱心に考えて企画しているが思うように集まらないという現状の打破は簡単ではありません。市民をひきつける更なるアイデアをお願いしたい。 生涯教育の時代に不可欠な公民館活動であるが、社会教育の意義を良く理解していない日本人一般の感覚がある上に、壮年世代は仕事で忙しく参加しにくく、主婦や高齢者が中心にならざるを得ないので、なかなか集客は難しい。 それでも必要な事業なので、各地域の特徴を生かした講座、他には無い、意外でおもしろい講座などの知恵をひねり出して、努力してほしい。		生涯学習、社会教育全般に対するご意見として、今後努力してまいります。
必要としている市民に届けるものなので、影響度が「小さい」と判断しなくてよいと思う。		この評価シートの「大きい」、「小さい」の判断基準としまして、市民生活、地域社会への影響を市全体として判断している数値のため、このような数値となってしまうところです。

事業名		事業概要
社会教育環境の整備		市民が気軽に地域交流の場に参加できる機会を提供できるよう、社会教育関係団体やサークル、自治会、指定管理者、行政などが連携し環境を整える。
事業コード	Ⅲ-2-(1)-①	
担 当	生涯学習課	
総合評価	A	

●基本方針Ⅳ 応援します。みんなの学び【生涯学習】

市民だれもが生涯を通して、スポーツ、文化、芸術、郷土の歴史等、自己を高める学習活動を応援します。

事業名		事業概要
放課後子ども教室事業		全ての児童が、放課後を安心・安全に過ごすことができるように、放課後子ども教室を開設する。また、放課後児童クラブ（学童保育）との一体化の運営についても検討を行っていく。
事業コード	Ⅳ-1-(1)-①	
担 当	生涯学習課	
総合評価	A	
質問・意見・提案		担当課回答
今後の方向として、「学童保育所を運営している事業者へ委託を行う」とあるが、今まで、別々の事業で同じようなことを行っている部分があると思っていたので、同じ業者が両方を考えて企画すれば自然に調和できると思う。 学童保育所に入っていない子も一緒に参加する子どもプランと、学童保育所だけになった時のプランが重ならなくなると思う。大賛成のため、早い導入を望む。		令和11年度までに全小中学校で整備できるよう努めてまいります。

事業名		事業概要
白井市民大学校事業		地域の魅力発見や健康など、それぞれの学部テーマに沿った学習の場を提供し、市民の主体的な「学び」と市民の「参加」によるまちづくりを総合的に支援する。
事業コード	Ⅳ-2-(1)-①	
担 当	生涯学習課	
総合評価	B	
質問・意見・提案		担当課回答
どこの自治体も取り入れている重要な事業だと思う。 しかし市民や地域への影響が少ないという状況を考えると、学習はしたいが、即地域に還元する人材にはならないという事かと思う。白井市全体対象の事業ですから、具体的に自分の地域に還元とはならなくても仕方ない気もする。 リーダーとなってサークルを立ち上げて運営していくとなるとまた別の能力が必要である。 もし地域に具体的に貢献させたいなら、それぞれのセンターで、独自の公民館大学のような講座を設定してもらうように働きかけ、その地域独自の活動が生まれるように導いて行ったらどうか。 各サークルがすでに活動してはいますが、もっと活動を増やしたいなら、センター単位のセンター大学のような講座で啓発していったらどうかと思う。		今後、事業運営について検討する際の参考とさせていただきます。

事業名		事業概要
立春式事業		多様化する生徒の個性、能力、適性等に配慮し、社会への仲間入りを自覚させるきっかけとして、市内に在学する中学2年生を対象に立春式事業を実施し、その事業に対して支援する。
事業コード	IV-2-(1)-②	
担 当	生涯学習課	
総合評価	※令和3年度終了	

事業名		事業概要
図書館サービス推進事業		市民の生涯学習を支援するため、知識と情報を提供し、利用者層・利用目的に対応したサービスを行う。
事業コード	IV-2-(2)-①	
担 当	文化センター	
総合評価	A	
質問・意見・提案		担当課回答
6 今後の方向性（事業の方向性） 業務プロセスの改善（スケジュール等）の実施時期が、前年度は令和8（2026）年頃と示されていたが、削除された理由は。		文化センター大規模改修に向けて業務プロセスの改善を見込んでいましたが、大規模改修の予定時期が未定となったため削除しました。
図書館の雰囲気がとても良く、サービスもよく利用しやすい。 子どもは手に取って本を選ぶので、絵本はできるだけ開架にしてほしい。		今後も皆さまに利用しやすい図書館運営に努めてまいります。成長期にある子どもには、それぞれの時期にあった本を提供するため、図書館司書が「白井市立図書館資料収集要綱」に基づき、1冊ずつ現物を確認し、受入れしております。 この中には、複本や出版年が古いものも含まれており、学校への団体貸出の本も所蔵しているため、閉架に配架しておりますが、絵本についてはできるだけ、開架で受入れるよう努めてまいります。

事業名		事業概要
図書館資料整備事業		市民の読書要求に応じるため、図書・雑誌・新聞などの資料の充実と社会情勢にあった蔵書構成を目指す。データベースなど最新の情報ツールを提供するとともに、電子書籍の導入を検討する。
事業コード	IV-2-(2)-②	
担 当	文化センター	
総合評価	A	
質問・意見・提案		担当課回答
6 今後の方向性（事業の方向性） 業務プロセスの改善（スケジュール等）の実施時期が、前年度は令和8（2026）年頃と示されていたが、削除された理由は。		文化センター大規模改修に向けて業務プロセスの改善を見込んでいましたが、大規模改修の予定時期が未定となったため削除しました。
本の値段が上がっているの、予算を増やして資料を購入できるようにしてほしい。 特に本館のヤングコーナーの書籍、センター図書室の絵本や児童書が充実する（常に新しいものが入っている状態になる）とよい。		今後必要予算の確保に努めてまいります。 ヤングコーナーの本については、それぞれの問題解決のための入門書や、進学・就職について考える指針となるような、最新の資料を揃えるよう努めています。 また、センター図書室についても、それぞれの時期にあった本を提供するため、図書館司書が選書した本を受入れし、適宜入れ替えをしております。

事業名		事業概要
プラネタリウム館運営事業		星空を通して豊かな心を育むために、ライフステージや客層に応じた事業を企画し、白井のオリジナリティある番組制作や投映を行う。また、宇宙に親しむため、観望会や各種講座をボランティアと協働で開催する。
事業コード	IV-2-(3)-①	
担 当	文化センター	
総合評価	A	
質問・意見・提案		担当課回答
3コスト 令和7年度計画事業費の減額が見込まれているが、その理由は。		平成27年度から令和6年度までの期間でリースしていた光学式プラネタリウムのリース期間が終了し、その分の支出が不要となるためです。
多彩なプログラムが用意されており、携わっている職員の方の努力を感じる。謎解きプログラムに参加しましたが本当によくできている満足できる内容だった。今後もこのような事業を継続してほしい。		引き続き分かりやすい投映解説や、イベントプログラムを考え、事業の継続に努めていきたいと考えております。

事業名		事業概要
総合型地域スポーツクラブ支援事業		いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことのできる生涯スポーツの推進を図るため、総合型地域スポーツクラブの活動場所の確保や周知及び地域スポーツ指導者の核となる人材育成の支援を行う。
事業コード	IV-3-(1)-①	
担 当	生涯学習課	
総合評価	A	
質問・意見・提案		担当課回答
市民生活への影響度は決して小さいと思う。		市民生活等への影響度については、「大きい」、「小さい」、「無い」の選択肢となっており、会員数と市民の数を比較し、「小さい」としました。

事業名		事業概要
各種スポーツ大会開催事業		スポーツの普及振興、運動習慣の定着を図りスポーツの楽しさを実感できるようイベント等を実施するほか、各種大会を開催し競技力の向上を図る。また、スポーツ団体の活性化を図るため支援を行う。
事業コード	IV-3-(1)-②	
担 当	生涯学習課	
総合評価	A	
質問・意見・提案		担当課回答
各種スポーツの市民大会、梨マラソン大会への参加や活躍を目標にして練習に励んでいる市民はたくさんいるので、影響度が「小さい」とは言えないと思う。		市民生活等への影響度については、「大きい」、「小さい」、「無い」の選択肢となっており、各種大会への参加者数と市民の数を比較し、「小さい」としました。

事業名		事業概要
文化を支える人材育成支援事業		市民の自主的な文化芸術活動の創造による地域文化振興を図るため、市内を活動拠点とする包括的な文化芸術活動を行う団体の活動を支援する。
事業コード	IV-4-(1)-①	
担 当	生涯学習課	
総合評価	A	

質問・意見・提案	担当課回答
① 5事業の評価（必要性／市民生活・地域社会への影響度） 評価が、令和4年度は「大きい」だったが、令和5年度は「小さい」となったのはなぜか。 ② 5事業の評価（有効性／達成度） 評価が、令和4年度「目標を達成している」だったが、令和5年度は「目標に近づいている」となったのはなぜか。	①②文化芸術活動は長期的には市民生活や地域社会に影響がありますし、短期的には心へ良い影響を与えるものではありませんが、人の生活基盤に直接的に目に見えた形で影響するものではないため「小さい」としています。 また、市民が公益的に文化情報を発信することは、発信する市民に文化的研鑽と運営・周知を委ねるもので、市民に大きな負担を求める点で即時に達成できるものではなく、現在は「目標に近づいている」と評価しています。

事業名	事業概要
市民文化祭開催事業	市の文化芸術活動を振興するため、市民文化祭を開催しその運営を行う団体を支援する。
事業コード IV-4-(1)-②	
担 当 生涯学習課	
総合評価 A	
質問・意見・提案	担当課回答
5事業の評価（必要性／市民生活・地域社会への影響度） 評価が、令和4年度「大きい」だったが、令和5年度は「小さい」となったのはなぜか。	文化芸術活動は長期的には市民生活や地域社会に影響がありますし、短期的には心へよい影響を与えるものではありませんが、人の生活基盤に直接的に目に見えた形で影響するものではないため「小さい」としています。
長い伝統がある事業だと思うが、市民や地域への影響が「小さい」となっている。実行委員会制に移行して10年経過しているが、確かに当日のお客は少ないと思う。 かつて活発に活動していたサークルが高齢化し、参加をやめてしまったということ、また音楽関係を除いては、積極的には発表の場としてこの文化祭を活用できていない。参加団体になると仕事が割り当てられて嫌なので、参加しないという事もあるかと思う。 文化団体協議会も発足してだいぶたち、その支援は重要ですが、市主催を残している文化祭については、白井市の文化に対する姿勢を示す、画期的なアイデアを生み出す時期に来ているような気がする。	市民文化祭について新たな発表の場を検討することは考えておりますが、市が主導するのではなく、市民からそうした意見が出て、市民自身が主体的に運営することを望みます。 とはいえ、市外のプロジェクションマッピングのできる団体を呼べないかと相談を受けても、現行の枠組みでは新たな発表の場を創設する余地は無く、市外の団体であっても市の文化振興に寄与するならば参加可能とするなど、様々な可能性を模索できればと思います。
高齢化の影響もあり、音楽関係以外の団体の参加が減少している。伝統事業であり、新鮮なアイデアが欲しい。	市民文化祭について、ダンスフェスティバルや展示・大会部門の一部では参加団体が増えております。 高齢化や、後継者不足で、縮小的な部分はあるかと思いますが、市が主導するのではなく、市民から自発的にそういった意見を出していただく。 例えば、市内だけだと難しいのであれば、市外の団体とかも市の文化振興に寄与するならば参加可能とするなども考えられると思います。市、団体それぞれ意見を出し合って、今後、いい方向に進めていければと考えております。

事業名		事業概要
文化会館管理運営事業		文化会館の緞帳、反響板、せり等の舞台設備、マイク、スピーカ、ミキサー等の音響設備及び舞台を照らすライト等の照明設備、舞台備品、ピアノ等の楽器の維持管理やホールの貸出業務を行う。
事業コード	IV-4-(2)-①	
担 当	文化センター	
総合評価	A	
質問・意見・提案		担当課回答
5事業の評価（効率性/評価の理由・課題） 照明設備に不具合が生じたためなど とあるが、館全体の大規模改修等の見通しはあるか。		工事着手は未定ですが、令和6年度から文化センター内に大規模改修準備室を設置し、基本計画の策定に取り組んでいます。
5事業の評価（効率性/受益者負担） 評価が、令和3・4年度とも、「適切である」だったが、令和5年度は、「求めることができない」となったのはなぜか。		令和5年度に生じた照明設備の不具合の修繕については、施設管理者側が行うものであるため、受益者（市民）に負担を求めることは難しいためです。

事業名		事業概要
文化会館自主事業運営事業		文化会館の自主事業として、演劇、演歌、ポピュラーミュージック、クラシックコンサートや古典芸能など、市民に優れた芸術文化を提供するため、各種公演等を開催する。
事業コード	IV-4-(2)-②	
担 当	文化センター	
総合評価	B	
質問・意見・提案		担当課回答
市全体の予算は限られている。優先順位を考慮し、この事業については廃止の英断（区切り）をすべき時が来ているのではないか。		文化会館自主事業については、次期総合計画策定を目的に方向性について文化会館運営協議会に諮り審議をいただいております。 なお、運営協議会では自主事業について廃止すべきとの意見は出ておりません。
5事業の評価 （令和4年度→令和5年度の比較） ①（必要性/事業のニーズ・実施意義） 高まっている→計画時と変わらない ②（必要性/市が関与する必要性） 高まっている→計画時と変わらない ③（有効性/対象の範囲） 縮小する必要がある→適切である ④（有効性/達成度） 目標に近づいていない→目標を達成している ⑤（効率性/実施手法・運営主体） 見直す余地がある→適切に設定されている ⑥（効率性/業務プロセス(進め方・手続き)） 改善の余地がある→適切に進められている この評価の違いはなぜか。		①②について、 理由： 自主事業については、実施後のアンケートなどでは市民からの要望も多く、ニーズの高まりを感じていたが、この質問事項や決算審査特別委員会でも廃止を検討すべきとの意見もあることから、令和5年度から評価を変更しました。 ③④⑤⑥について、 理由： 予算が限られる中、令和4年度と比較し、県の負担金を受けて、より規模の大きな事業を市の負担額を下げたことで実現することができたため、令和5年度から評価を変更しました。
自主事業プログラムがもっと増える とよい。 催し物の選定を他団体に委託することも可能だと思う。		現在、文化会館運営協議会にて検討中のため、いただいたご意見については参考とさせていただきます。

事業名		事業概要
文化財保護・周知事業		市内の国・県・市指定文化財の良好な状態で保存と活用を図り、市民が文化財に親しむ機会を広げ、市の歴史理解と文化の向上に寄与する。
事業コード	IV-5-(1)-①	
担 当	生涯学習課	
総合評価	B	

事業名		事業概要
文化財調査事業		市内に所在する各種文化財を分野ごとに調査を実施し、報告書にまとめて文化財保護・周知のための基礎資料を整備するとともに、調査成果をもとに各種普及書を作成し、その成果を市民に還元する。
事業コード	IV-5-(1)-②	
担 当	生涯学習課	
総合評価	A	

事業名		事業概要
埋蔵文化財・文化財記録・保護事業		埋蔵文化財の発掘調査や、文化財の測量調査を実施することで、各種情報を記録化し、保護対策を講じていく。
事業コード	IV-5-(1)-③	
担 当	生涯学習課	
総合評価	A	

事業名		事業概要
市史編さん事業		将来的な市史編さん事業に備えて、歴史公文書を収集するほか、市史編さん事業に関係する各種情報の収集を行う。
事業コード	IV-5-(1)-④	
担 当	生涯学習課	
総合評価	A	
質問・意見・提案		担当課回答
千葉県の中で市史編さんが遅れている数少ない自治体であることは知っている。 また、現在はまだ資料収集の時期であるとも聞いている。 さらにまとめは不確定な将来になってしまいうだろうということも耳にしているが、新しい総合計画が始まるこの時期に、ある程度の見込みを意識した構想を示すことは出来ないのか。		次期総合計画の基となる基本構想の策定が令和7年度上半期を予定しており、その内容を鑑みてから検討したいと思います。

市史編さんが出来ないとしても、すでに文化財のデジタル化保存で、市民に白井の特徴の伝統文化、文化財を市民にPRすることが出来やすくなって来ていますので、平成17年発行の『白井のあゆみ』（郷土資料館）に続く、白井の歴史の全体像を市民に示すものを作ってはどうか。 市のHPにある秘書課発信の「白井市誕生までの軌跡」も、郷土館の常設展の展示も一部しか示せていないので、概要理解にはよいのですが、一般市民が自分の市の歴史をもう少し詳しく他の人に説明できるものがほしい。	ご意見として承ります。
資料の収集など、着実に積み上げる努力をしていると思う。長い時間かかりそうなので、並行して、今の時点で、市民が白井の歴史を他に説明出来るくらいの見やすい、所持しやすい冊子を作ることはできないか。 （市民が、「自分たちの白井の歴史」だとすぐ手にとれる内容の本があればよいと思う。）	次期総合計画策定の基本構想の策定が令和7年度上半期に予定されており、その中で方向性を決めていくということになっております。 お金と人とかかかるので、今の段階で申し上げることはできませんが、検討することにはなっております。

事業名		事業概要
郷土資料館展示・教育普及事業		資料館の利用者に対しアンケートによる調査を実施し、利用者の意見を反映させた展示・普及事業を行う。また、市の歴史や文化財に関する情報を発信することにより、市民が市や地域へ興味・関心を持てるようにする。
事業コード	IV-5-(2)-①	
担 当	文化センター	
総合評価	A	
質問・意見・提案		担当課回答
講座や教室の参加人数が示されていて大変分かりやすい。 地味な取り組みだが大切に継続してほしい。		ご意見として承ります。
小学生にも分かりやすい展示になっていると思う。		引き続き分かりやすい展示に努めていきたいと考えております。

事業名		事業概要
市民学芸スタッフ古文書修補活動事業		市の文化財の一つである古文書を、良好な状態で後世まで守り伝えるため、古文書の修補作業を市民と協働で実施するとともに、修補技能者（市民学芸スタッフ）の育成と修補技能の継承を行う。
事業コード	IV-5-(2)-②	
担 当	文化センター	
総合評価	A	
質問・意見・提案		担当課回答
2取組状況（令和5年度取組状況） 新規市民学芸スタッフは公募によるものか。		公募によるものではなく、古文書修補作業の見学を経て研修生となり経験を積んだ方が新規にスタッフになっております。

教育委員会の活動状況（令和５年度）

教育委員会では、教育委員会定例会及び臨時会、学校訪問や研修・視察等において、各委員がそれぞれの専門性や識見を発揮しながら、教育行政の推進のために活動しています。

教育委員会会議については、定例会を毎月１回開催し、必要に応じて臨時会を開催しています。令和５年度は、定例会１２回、臨時会４回の計１６回開催しました。

また、市長と教育委員会とが教育の課題や重点施策について協議を行う「総合教育会議」は市長の招集により１０月及び３月に開催し、「子どもの居場所づくり」や「白井市第３次教育大綱策定方針（案）」について意見交換を行い、議論することで共通認識を図り、今後の展開につなげることができました。

その他、令和５年度は、コミュニティ・スクールの導入に向けた説明会へ参加したり、学校訪問や学校のスクールサミットの発表会、学校行事、千葉県市町村教育委員会連絡協議会等の各種研修会へ参加し、識見を高め教育施策等の反映に努めています。

月	教育委員会会議	総合教育会議	教育に関する事務事業評価	学校訪問等	研修・視察等
令和５年 ４月	１回				・印旛地区教育委員会連絡協議会 定期総会 ・千葉県都市教育長協議会 第１回役員会（書面開催）
５月	１回				・第１回教科用図書印旛採択地区協議会 ・全国都市教育長協議会定期総会研究大会（帯広大会） ・千葉県市町村教育委員会連絡協議会定期総会 ・関東甲信越静岡市町村教育委員会連合会総会及び研修会（埼玉大会）
６月	１回			所長訪問４校 次長訪問２校 指導室訪問１校	・市町村教育委員会教育長・教育委員研究協議会（前期） ・千葉県都市教育長協議会第２回役員会・全体会・分科会
７月	２回			次長訪問１校	・第２回教科用図書印旛採択地区協議会
８月	１回				
９月	１回		１回	指導室訪問１校	・市町村教育委員会教育長・教育委員研究協議会（前期）
１０月	１回	１回			
１１月	２回			指導室訪問２校	・千葉県市町村教育委員会連絡協議会教育長・教育委員研修会（動画配信）
１２月	１回				・市町村教育委員会研究協議会（動画配信）
令和６年 １月	１回				・千葉県市町村教育委員会連絡協議会教育長・教育委員研修会
２月	２回				
３月	２回	１回			

教育委員会議における審議

開催日	議 題	傍聴数
令和5年 第4回定例会 4月4日	議案第1号 白井市スポーツ推進委員の委嘱について 報告第1号 西白井複合センター、白井駅前センターの指定管理者の組織変更に伴う名称変更について 報告第2号 要保護準要保護児童生徒の認定について 協議第1号 白井市文化センターのあり方検討委員会の提言書を踏まえ白井市教育委員会の方針について	4
第5回定例会 5月2日	議案第1号 白井市生涯学習推進委員会委員の任命について 議案第2号 白井市学校給食センター運営委員会委員の任命について 議案第3号 白井市文化会館運営協議会委員の任命について 議案第4号 白井市郷土資料館運営協議会委員の任命について 議案第5号 令和5年度白井市教育委員会事務事業点検評価委員の選任について 議案第6号 白井市文化センターのあり方検討委員会の提言書を踏まえ白井市教育委員会の方針について 報告第1号 白井市学校評議員の委嘱について 報告第2号 白井市民プールにおける開設期間、利用時間及び利用料金の変更について 報告第3号 令和5年度地域人材活用事業学校別計画事業及び予算配当について 報告第4号 要保護準要保護児童生徒の認定について	6
第6回定例会 6月6日	議案第1号 白井市生涯学習推進委員会委員の委嘱について 議案第2号 白井市子ども・若者育成支援協議会委員の委嘱及び任命について 議案第3号 白井市放課後子どもプラン推進委員会委員の委嘱及び任命について 議案第4号 白井市スポーツ推進委員会委員の任命について 議案第5号 白井市附属機関条例の一部改正に係る意見聴取について 議案第6号 白井市教育委員会附属機関規則の一部を改正する規則の制定について 議案第7号 白井市特別支援教育就学奨励費支給規則の一部を改正する規則の制定について 議案第8号 令和5年度教育費補正予算（第5号）に係る意見聴取について 報告第1号 要保護準要保護児童生徒の認定について 報告第2号 適応支援教室から教育支援センターへの名称変更について	6
第7回定例会 7月5日	議案第1号 令和5年度教育費補正予算（第6号）に係る意見聴取について 報告第1号 要保護準要保護児童生徒の認定について 委員質疑 コミュニティ・スクールの導入について 部活動の地域連携・地域移行について	2
第2回臨時会 7月18日	議案第1号 令和6年度使用教科用図書の採択について	0
第8回定例会 8月1日	議案第1号 白井市就学援助費支給規則の一部を改正する規則の制定について 議案第2号 令和5年度教育費補正予算（第7号）に係る意見聴取について 報告第1号 白井市放課後子ども総合プラン行動計画について 報告第2号 令和6年度以降のスクールバスの運行に関する検討結果について	5
第9回定例会 9月5日	議案第1号 白井市教育支援委員会委員の任命及び委嘱について 報告第1号 要保護準要保護児童生徒の認定について	5
第10回定例会 10月3日	議案第1号 白井市学校運営協議会の設置及び運営に関する規則の制定について 報告第1号 令和6年度白井市予算編成方針について 報告第2号 要保護準要保護児童生徒の認定について	4

開催日	議 題	傍聴数
第 11 回定例会 11 月 7 日	議案第 1 号 令和 5 年度末及び令和 6 年度白井市小中学校職員の人事異動方針について 議案第 2 号 白井市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正に係る意見聴取について 議案第 3 号 白井市桜台公民館の指定管理者の指定議案に係る意見聴取について 議案第 4 号 白井市民プール及び白井運動公園の指定管理者の指定議案に係る意見聴取について	1
第 3 回臨時会 11 月 13 日	議案第 1 号 令和 5 年度教育費補正予算（第 9 号）に係る意見聴取について	1
第 12 回定例会 12 月 5 日	議案第 1 号 給食費の改定について 議案第 2 号 令和 5 年度教育費補正予算（第 11 号）（案）に係る意見聴取について 報告第 1 号 要保護準要保護児童生徒の認定について	8
令和 6 年 第 1 回定例会 1 月 5 日	議案第 1 号 教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況に係る点検及び評価に関する報告書（案）について 委員質疑 コミュニティ・スクールの進捗状況について	4
第 2 回定例会 2 月 6 日	議案第 1 号 白井市文化センター改修基金条例の制定に係る意見聴取について 議案第 2 号 白井市学校給食センター管理規則の一部を改正する規則の制定について 議案第 3 号 白井市西白井公民館の指定管理者の指定議案に係る意見聴取について 議案第 4 号 次期白井市教育振興基本計画の策定方針（案）について 議案第 5 号 令和 5 年度教育費補正予算（第 13 号）に係る意見聴取について 議案第 6 号 令和 6 年度教育費当初予算に係る意見聴取について 議案第 7 号 白井市優良児童・生徒表彰の推薦について 報告第 1 号 白井市教育委員会職員の人事異動について 報告第 2 号 要保護準要保護児童生徒の認定について	5
令和 6 年 第 1 回臨時会 2 月 15 日	議案第 1 号 契約の締結議案に係る意見聴取について	1
第 3 回定例会 3 月 5 日	議案第 1 号 白井市学校運営協議会委員の任命について 議案第 2 号 白井市教育委員会公告式規則の一部を改正する規則の制定について 議案第 3 号 行政組織の再編等に伴う関係教育委員会規則の整備に関する規則の制定について 議案第 4 号 白井市教育委員会処務規程の一部を改正する訓令の制定について 報告第 1 号 白井市教育支援委員会の結果及び就学について 報告第 2 号 要保護準要保護児童生徒の認定について 委員質疑 要保護準要保護について	0
第 2 回臨時会 3 月 21 日	議案第 1 号 白井市学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の委嘱について 議案第 2 号 白井市立小学校及び中学校管理規則の一部を改正する規則の制定について 議案第 3 号 白井市立学校職員服務規程の一部を改正する訓令の制定について 議案第 4 号 白井市文化センター改修寄附金取扱要綱の制定について 議案第 5 号 令和 6 年度教育費補正予算（第 1 号）に係る意見聴取について 報告第 1 号 令和 5 年度末及び令和 6 年度白井市小中学校職員人事異動について	1